

令和元年度 エネルギー消費統計調査

<調査票第3号用> 排熱回収ボイラを用いた廃棄物発電等記入要領

排熱回収ボイラを用いた廃棄物発電、または熱源の利用を行っている場合は、以下いずれかの方法に従って調査票に記入してください

・発電および熱源の利用を行っている場合



2ページ 記入方法(1)へ

・発電のみ行っており、熱源の利用は行っていない場合



3ページ 記入方法(2)へ

・発電を行っておらず、熱源の利用のみ行っている場合



4ページ 記入方法(3)へ

※「スーパーごみ発電」、「ガス改質式ガス化溶融炉を用いた発電または熱源の利用」を行っている場合の記入方法については、
お手数ですがエネルギー消費統計調査事務局（フリーダイヤル：0120-716-637）までお問い合わせください

廃棄物に該当する燃料は以下のとおりです

No	燃料名	標準的な単位	注記
28	再生油(石油由来)	リットル	潤滑油等の非エネルギー利用の油を加工再生し燃焼させるもの 再生油、廃油、再生燃料油、再生工業油、回収油等含む
60	回収黒液	kg	記入するのは製紙業に限る
62	廃材	kg	木材廃材、薪、木質端材、木くず、木材、工場廃材(原木煮沸・製品乾燥燃料)等
63	廃タイヤ	kg	
64	廃プラスチック	kg	下記RPF以外のプラスチックの再利用
65	RDF	kg	Refuse Derived Fuel 家庭廃棄物由来の再生燃料
66	RPF	kg	Refuse Paper & Plastic Fuel プラスチック+紙ゴミ由来の再生燃料
67	尿尿	kg	
69	木質系燃料	kg	木質チップ、オガライト等木質加工燃料、木材ペレット、ペレット、ホワイトペレット、パークペレット、パーク等
70	その他廃棄物利用	kg	その他の廃棄物の利用(ゴミ含む)、バイオマス(可燃ゴミ)、燃やせるゴミ、燃料チップ、コーヒー粕、麻袋等
72	バガス	kg	サトウキビの絞りかす
77	その他液体燃料	リットル	動植物由来の石油系燃料で、BDF(バイオディーゼルフュエル、食用廃油の再生ディーゼルフュエル等)を除く 動植物油、再生植物油、廃食油、脂肪酸ピッチ、粗脂肪酸等

※第3号記入要領15ページ「(参考Ⅲ)記入すべき燃料一覧」より抜粋

記入方法(1):発電および熱源の利用を行っている場合

調査票2ページ「B2. 燃料消費」、「B3. 自家発電」

B2. 燃料消費

燃料消費量は、市況変動が激しく、季節変動が大きい。また、用途別（家庭用・業務用）の区分が不明確なため、正確な数値を算出することが困難である。そのため、本調査では、市況変動の影響を受けやすい燃料消費量の推定に重点を置き、実際の消費量を可能な限り正確に算出することを目指す。

単位 (〇で読む)	消費量計 (または合計)	① 発電機 ② コジェネレーション ③ 太陽光発電 ④ 風力発電 ⑤ 水力発電 ⑥ その他	⑦ 燃料消費量 (または合計)
都市ガス	m ³	円	
LPGガス (LPガス、プロパンガス)	kg、m ³	円	
灯油	kg	円	
A重油	kg	円	
ガソリン	kg	円	
軽油	kg	円	

車用燃料について

燃料消費量は、車両用(自動車)に限定して記載してください。
 主に一般道路を走行する自家用(公用)、乗用車(トラック、バス等)の燃料消費量を記入してください。

記入が必要な車両用燃料

- ① 工場、倉庫、店舗等の建物内で使用する車両用
- ② 小規模事業者向け(ワークリフト、農林業ハンドトラクター等)
- ③ 国土交通省指定の「グリーンカー」等
- ④ 一般道で運転に使用しない特殊用途車(消防車、パトカー、救急車、警備車、災害対策車等)

☐ 上記①～④以外の車両用燃料を併せて記入した場合はチェックしてください

-----廃棄物の名称を記入してください

-----単位を記入してください

-----発電および熱源の発生に使用した廃棄物の処理量を記入してください

-----「はい」にチェックしてください

-----「廃棄物発電」と記入してください

----- 稼働状況について、当てはまるものを選択してください

発電量、販売・払出量を記入してください

※販売・払出量は、販売・払出を行っている場合のみ記入してください

調査票3ページ「B4. 熱源」

B4. 熱源

熱供給事業者等から熱源を購入・受入していますが、または、以下の設備で熱源を自ら発生・回収していませんか？
☒ はい ☐ いいえ

※熱源ボイラ(火力発電)に付随する排気ガス(炉内燃焼排気)で暖房(浴室等)の給湯が必要な場合
 ※給湯専用ボイラ
 ※給湯に用いるないボイラ(給湯・暖房・給湯専用等の給湯・温水を発生するためのボイラ)
 ※ヒートポンプ方式

単位 (円/千キロワット時)	購入元・受入量 (または金額)	④自発生・回収量	⑤買収対象事業所内の消費量		⑥買収対象事業所に 以外へ転売した消費量 (または金額)
			⑦給水・冷温水発生及び 自家発電電圧以外	⑧給水・冷水発生用 ⑨自家発電電圧	
蒸気	GJ・t・円				
温水	GJ・t・円				
冷水 冷水発生設備あり	GJ・t・円				
その他	GJ・t・円				

※「給水・冷水」の発生量を算出して、「⑦」「⑧」欄に入力してください。

-----「はい」にチェックしてください

-----単位を選択してください

----- 排熱の発生・回収量を記入してください

排熱の消費量、販売・払出量を記入してください

-----※消費量は用途別に記入してください

※販売・払出量は、販売・払出を行っている場合のみ記入してください

----- 排熱の発生・回収がある場合、具体的な熱源を記入してください
(例) 清掃工場での排熱

記入方法(2): 発電のみ行っており、熱源の利用は行っていない場合

調査票2ページ「B2. 燃料消費」、「B3. 自家発電」

B2. 燃料消費

燃料消費量のうち、車両用燃料については、以下の「車両用燃料」の欄に記入してください。

燃料の種類	単位 (○で囲む)	消費量 (または金額)	以下に設備を使用している場合、設備の○にチェックしてください。 また、設備で消費している燃料を「消費量」の欄に記入してください。 ※「消費量」の欄は、設備の欄に記入した燃料の消費量を記入してください。	
都市ガス	m ³ ・月		☐ 発電用ボイラ (電力発電) ☐ コジェネレーション ☐ 廃棄物発電 (バイオマス・ガスタービン等)	
LPガス (LPG、プロパンガス)	kg・月			
灯油	kg・月			
A重油	kg・月			
ガソリン	kg・月			
軽油	kg・月			
車両用燃料について	燃料消費量には、車両用 (自動車) に消費した燃料を含めて記入してください。 ※主に一般道路を走行する車両用 (公道、車庫内 (トラック、バス等) の消費量は含めないでください。			
記入が必要な車両用燃料 ①バス・乗車・空母等の船内のみで使用する車両用 ②自動車用燃料 (ガソリン、軽油、灯油、重油、バイオマス等) ③船舶用燃料 (ガソリン、軽油、灯油、重油、バイオマス等) ④船舶の船内に搭載している船舶用燃料 (ガソリン、軽油、灯油、重油、バイオマス等)				

B3. 自家発電

① 自家発電設備を所有または管理していますか (発電・消費は問いません) ☒ はい ☐ いいえ → B4へ

② 所有または管理している自家発電設備は、
 発電量を記入してください。
 ※発電機 (エンジン・ディーゼル・ガスタービン等) の発電量を記入してください。

発電機の種類	単位 (○で囲む)	発電量 (または金額)	備考
ボイラ発電 (電力発電)	1・2・3・4	千kWh	※「発電量」の欄は、設備の欄に記入した燃料の消費量を記入してください。 ※「発電量」の欄は、設備の欄に記入した燃料の消費量を記入してください。
コジェネレーション	1・2・3・4	千kWh	
廃棄物を利用しないバイオマス・ガスタービン等	1・2・3・4	千kWh	
太陽光発電	1・2・3・4	千kWh	
風力発電	1・2・3・4	千kWh	
小水力発電	1・2・3・4	千kWh	
その他の発電	1・2・3・4	千kWh	

廃棄物の名称を記入してください

単位を記入してください

発電に使用した廃棄物の処理量を記入してください

「はい」にチェックしてください

「廃棄物発電」と記入してください

稼働状況について、当てはまるものを選択してください

発電量、販売・払出量を記入してください
 ※販売・払出量は、販売・払出を行っている場合のみ記入してください

調査票3ページ「B4. 熱源」

B4. 熱源

熱供給事業者等から熱源を購入・受入していますか。または、以下の設備で熱源を自ら発生・回収していますか
 いずれかにチェックしてください。
 ※「発生・回収」の欄は、設備の欄に記入した燃料の消費量を記入してください。

＜記入方法＞
 ・発生・回収 (設備・設備・設備等の熱源、熱水を発生するのみのボイラ)
 ・ボイラ・ガスタービン方式

熱源の種類	単位 (○で囲む)	⑧購入・受入量 (または金額)	⑨自ら発生・回収量	⑩熱源・冷熱発生設備 自家発電機以外	⑪熱源・冷熱発生設備 自家発電機	⑫熱源・冷熱発生設備 自家発電機以外
暖房	GJ・月					
温水	GJ・月					
冷水 ※冷水は設備外	GJ・月					
その他	GJ・月					

清掃工場での排熱

「はい」にチェックしてください

単位を選択してください

排熱の発生・回収量を記入してください

自家発電用に消費した熱量を記入してください
 ※「⑧自ら発生・回収量」と「⑨自家発電用」には同数値を記入してください

排熱の発生・回収がある場合、具体的な熱源を記入してください
 (例) 清掃工場での排熱

記入方法(3):発電を行っておらず、熱源の利用のみ行っている場合

調査票2ページ「B2. 燃料消費」、「B3. 自家発電」

[illegible]

- 廃棄物の名称を記入してください

単位を記入してください

- 熱源の発生に使用した廃棄物の処理量を記入してください

「いいえ」にチェックしてください

※排熱回収ボイラを用いた廃棄物発電の他に自家発電設備を所有または管理している場合は、①は「はい」を選択し、②を記入してください

調査票3ページ「B4. 熱源」

B4. 熱源

熱供給事業者等から熱源を輸入・投入していますか、または、以下の設備で熱源を自ら発生・回収していますか
いずれかにチェックしてください

※無関係のボイラ（圧入・圧入ポンプ・圧入ポンプ・圧入ポンプ）は「無関係のボイラ」に記入してください

＜圧入ポンプ＞
・設備に付随しないボイラ（給湯・暖房・給湯・給湯等の用途、温水を発生するもののボイラ）
・ヒートポンプ方式

熱源について、下欄に
記入してください

熱源 (注)付注)	消費量 (または金額)	自発生・回収量	「国対策事業所」内の消費量		「国対策事業所」 以外への供給・引当量 (または金額)
			給湯・温水発生用及び 自家発電用以外	給湯・冷水発生用 ※自家発電用	
蒸気	□ 〇 円				
温水	□ 〇 円				
冷水 ※水質は別添	□ 〇 円				
その他	□ 〇 円				

注：給湯・温水・冷水等の発生量を算出する場合は、必ず「国対策事業所」内で消費するものを記入してください。

「はい」にチェックしてください

-単位を選択してください

- 排熱の発生・回収量を記入してください

排熱の消費量、販売・払出量を記入してください

-※消費量は用途別に記入してください

※販売・払出量は、販売・払出を行っている場合のみ記入してください

排熱の発生・回収がある場合、具体的な熱源を記入してください
(例) 清掃工場での排熱